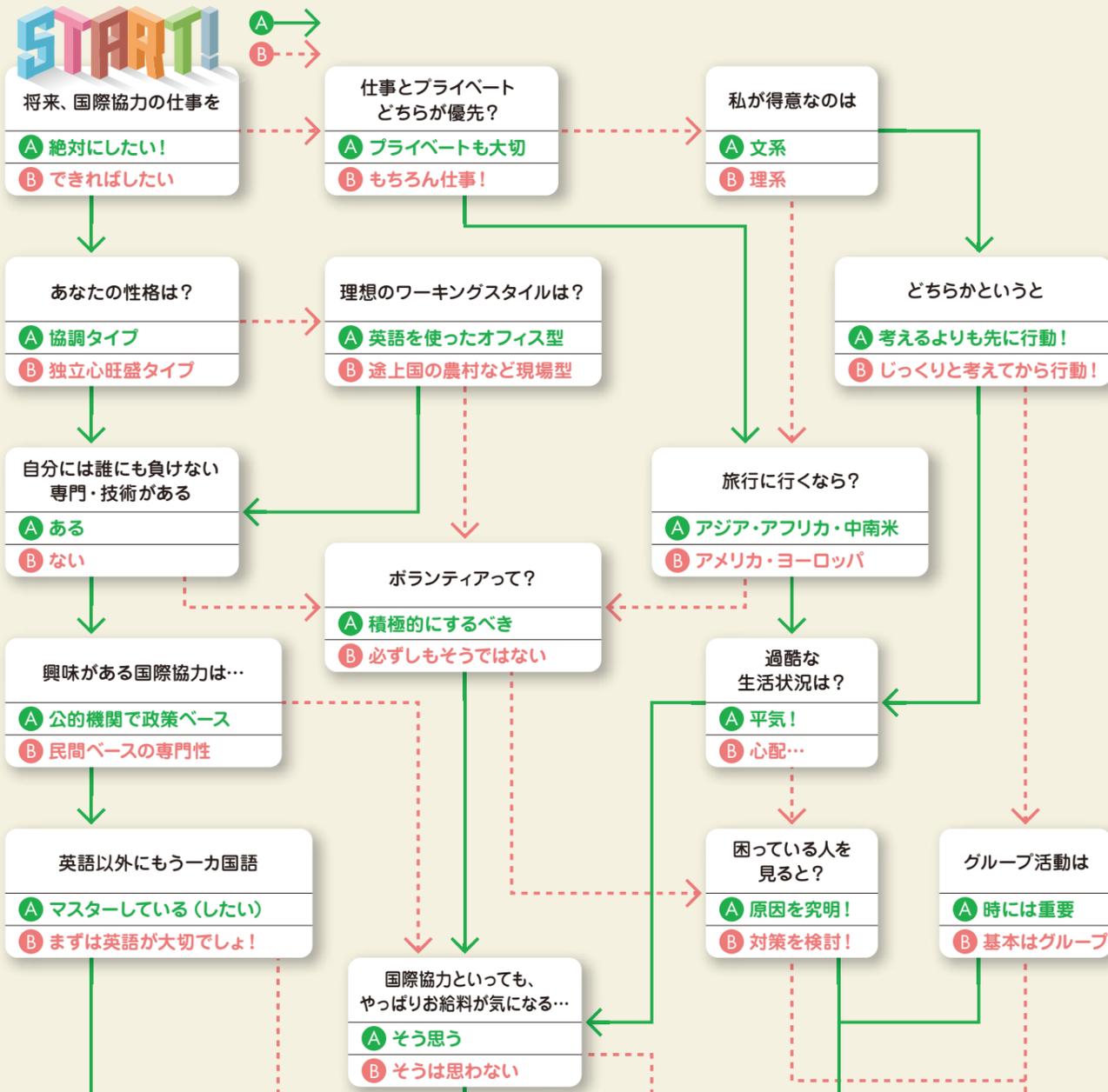


あなたはどのタイプ!?



<p>A type</p> <p>国際派</p> <p>国際機関で働こう!</p> <p>国際機関で働く国際公務員は各分野で修士号を取得していることが必須で、即戦力となる仕事のスキルや高度な語学力のほか、異なる国籍や文化、宗教の人たちと上手に付き合っていくコミュニケーション能力なども求められます。</p> <p>国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) / 国連児童基金 (UNICEF) / 国連開発計画 (UNDP) / 国連世界食糧計画 (WFP) など</p>	<p>B type</p> <p>日本代表</p> <p>関係省庁・実施機関で働こう!</p> <p>国際社会で日本の立場を主張し交渉する力や、国際協力に対する熱意と行動力が求められます。日本が持つ技術や経験を活用し、民間企業や大学、NGOと共に「All JAPAN」体制を構築し、プロジェクトの企画・立案・実施を担当、開発途上国のみならず、日本の平和や発展にも貢献しています。</p> <p>外務省 / 国際協力機構 (JICA) / 国際交流基金 / 日本貿易振興機構 (ジェトロ) など</p>	<p>C type</p> <p>プロフェッショナル</p> <p>開発コンサルティング企業で働こう!</p> <p>高い専門的なスキルを持つ開発コンサルタントは、国際協力機構 (JICA) や援助実施機関、外務省をはじめとする関係省庁から、プロジェクトの企画・立案・実施などを請け負う国際協力のプロフェッショナルです。日本の国際協力を縁の下で支えています。</p> <p>農業、水資源開発、運輸・交通、鉱工業、エネルギー、地域開発、教育、保健医療、環境、経済、行政など、各分野のエキスパート</p>	<p>D type</p> <p>理想を追求</p> <p>NGOで働こう!</p> <p>自分の理想を追求するため、あらゆる仕事をこなせるバイタリティーや、途上国の人々と良好な関係がつけられる人間性を備えていることが重要です。待遇面では決して恵まれていないことが多くありますが、何物にも代えがたい達成感が味わえます。</p> <p>日本の NGO / 国際 NGO など</p>	<p>E type</p> <p>頭脳で貢献</p> <p>大学・研究機関で働こう!</p> <p>探究心が強い人は、国際協力を志す学生を育てることや国際協力に関する研究者として大学で研究する道があります。学術的な専門知識や研究成果を実際のプロジェクトに反映させるという重要な役割を担っています。</p> <p>大学 / 研究機関 / シンクタンクなど</p>	<p>F type</p> <p>企業市民</p> <p>民間企業で働こう!</p> <p>民間企業では、社内のCSR (企業の社会的責任) として社員ボランティアを募り、国際協力を行う例が増えています。また、開発途上国の持続的発展に、民間企業の貿易や投資などの経済活動そのものが必要不可欠だと認識が広がっています。</p> <p>民間企業 / BOPビジネス企業 / ソーシャルビジネス企業</p>
---	--	--	--	--	--

グローバル教育教材

世界と共に生きる

日本の国際協力最前線での活動に学ぶ

監修 / 全国国際教育研究協議会 常務理事 齊藤宏

企画 / 制作 国際協力プラザ 事務局 / (財) 国際協力推進協会 **APIC**

〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバンビル 1F TEL 03-3947-0491 FAX 03-3947-4492

DVDで見ることが出来る日本の国際協力の現場



<p>第1巻</p> <p>日本のODA</p> <p>— 各国援助まとめ —</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国 ② カンボジア ⑥ インドネシア ⑦ ホンジュラス ⑱ エルサルバドル ⑱ エチオピア ⑮ ケニア ⑯ 	<p>第2巻</p> <p>国造りへの支援</p> <p>— インフラ整備 —</p> <ul style="list-style-type: none"> パキスタン ④ チュニジア ⑪ — 水 — カンボジア ⑥ カメルーン ⑭ — 農業 — パプアニューギニア ⑨ — 漁業 — タンザニア ⑰ — 災害援助 — フィリピン ⑧ 	<p>第3巻</p> <p>弱者への支援</p> <p>— 保健・医療 —</p> <ul style="list-style-type: none"> モロッコ ⑫ タンザニア ⑰ — 福祉・青少年活動 — エジプト ⑩ ケニア ⑯ — 女性支援 — ホンジュラス ⑱ バングラデシュ ⑤ — 貧困削減 — ケニア ⑯ 	<p>第4巻</p> <p>未来への支援</p> <p>— 環境 —</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国 ② モンゴル ① セネガル ⑬ — 教育 — ベトナム ③ ホンジュラス ⑱ エチオピア ⑮
--	--	--	--

目次

略語記載内容			
無償資金協力	→無償	有償資金協力	→有償
技術協力	→技協	開発調査	→調査
技術協力プロジェクト	→技プロ	日本 NGO 支援無償資金協力	→NGO
草の根技術協力パートナー型	→草の根パートナー	草の根・人間の安全保障無償資金協力	→草の根無償
草の根無償資金協力	→草の根	青年海外協力隊	→JOCV
シニア海外ボランティア	→SV		

第1巻 日本のODA

1 日本の国際協力

2 国際協力の現場

中国【2006年撮影】教育/保健・医療
 山西省大同市靈丘県小学校校舎改築計画
 (草の根無償)
 山西省靈丘県医療環境整備計画
 (草の根無償)

カンボジア【2007年撮影】インフラ/インフラ
 チュルイチョンバー橋修復計画 (無償)
 平成18年度カンボジア南東部における不発弾処理事業 (NGO)

インドネシア【2007年撮影】災害援助/災害援助
 メラビ山・プロゴ川流域及びバワカラエン山緊急防災計画 (有償)
 中部ジャワ地震復興支援プログラム青年海外協力隊員
 (看護婦、栄養士、理学療法士) 活動現場 (JOCV・技協)

ホンジュラス【2007年撮影】女性支援/保健・医療
 地方女性のための小規模起業支援プロジェクト (技プロ)
 首都圏病院網整備計画 (無償)

エルサルバドル【2008年撮影】教育
 ミリンゴ村初等学校整備拡充計画 (草の根無償)

エチオピア【2007年撮影】農業/インフラ
 農民支援体制強化計画 (技プロ)
 第三次幹線道路改修計画 (無償)

ケニア【2008年撮影】インフラ/インフラ
 ソンドゥ・ミリウ水力発電計画 (有償)
 ニヤンド川流域統合洪水管理計画調査 (調査)

第2巻 国造りへの支援

— インフラ整備 —

パキスタン【2005年撮影】
 コハットトンネル建設計画 (有償)
 トンネル建設による貧困率の高い北
 西辺境州の発展、並びに隣接する
 アフガニスタン復興支援にも資する。



チュニジア【2008年撮影】
 ラデスラグレット橋建設計画 (有償)
 橋梁建設によるチュニスの交通渋
 滞・大気汚染の緩和と周辺の開
 発促進。



— 水 —

カンボジア【2007年撮影】
 コンボンチャム州村落飲料水供給
 計画 (無償)
 安全な水の給水率の向上と住民
 の生活環境の改善。



カメルーン【2007年撮影】
 第三次地方給水計画 (無償)
 給水施設の建設による住民の生
 活水準向上。女性の農業生産へ
 の参画、児童の勉学機会の増加。



— 農業 —

パプアニューギニア【2008年撮影】
 地域開発研修施設拡充計画
 (草の根及び NGO)
 農業研修を受けた者が全国各地で成
 果を実践しながら、各地の農民に技術
 移転。農業振興・増産・増益を図る。



— 漁業 —

タンザニア【2008年撮影】
 ダルエスサラーム魚市場建設計画
 (無償)
 水産物の鮮度保持と市場機能及
 び流通機能と衛生環境の改善。



— 災害援助 —

フィリピン【2008年撮影】
 オルモック市洪水対策事業計画
 (無償)
 洪水対策による地域住民の生命・
 財産被害の軽減。



フィリピン【2006年撮影】
 ピナツボ火山災害緊急復旧計画
 (I)~(II) (有償)
 ピナツボ火山災害被災地域の復旧
 支援。



第3巻 弱者への支援

— 保健・医療 —

モロッコ【2006年撮影】
 地方村落妊産婦ケア改善プロジェクト (技プロ)
 地方村落妊産婦ケア改善計画 (無償)
 村落部の高い妊産婦死亡率に対
 し、県保健支局や医療機関の医
 療従事者の能力向上を図る。



タンザニア【2008年撮影】
 青年海外協力隊員 (理学療法士)
 活動現場 (JOCV・技協)
 理学療法への理解促進と現地理
 学療法士の教育。



— 福祉・青少年活動 —

エジプト【2005年撮影】
 青年海外協力隊員 (青少年活動)
 活動現場 (JOCV・技協)
 ストリートチルドレン保護施設。
 また、問題を抱えた家庭のサポート。



ケニア【2008年撮影】
 青年海外協力隊 (青少年活動)
 活動現場 (JOCV・技協)
 非行少年や家庭内の問題により、保護
 者の養育を受けることが出来なくなった子
 どもたちを収容。児童の健全育成のため、
 クラブ活動の指導者として活動をしている。



— 女性支援 —

ホンジュラス【2007年撮影】
 シニア海外ボランティア (立体裁断
 指導) 活動現場 (SV・技協)
 所得向上につながる洋裁技術の向上と
 インストラクターの技術レベルの向上。



バングラデシュ【2006年・2008年撮影】
 グラミン銀行による農村信用開発計画
 (有償)
 グラミン銀行を通じて土地無し貧困
 層への融資を行う。



— 貧困削減 —

ケニア【2008年撮影】
 半乾燥地社会林業強化計画 (技プロ)
 半乾燥地における社会林業活動普
 及、持続的な環境保全を高めつつ
 半乾燥地の住民の生活水準向上。



第4巻 未来への支援

— 環境 —

中国【2006年撮影】
 中国黄土高原における森林再生事業
 (草の根パートナー)
 砂漠化進行地域に持続可能な森
 林再生モデルを作り、これらの技
 術を周辺地域へ普及。



モンゴル【2006年撮影】
 ウランバートル市廃棄物管理計画 (調査)
 ゴミの質や量、収集コスト、回収・
 廃棄ルート等を多角的に調査しつ
 つ、ウランバートル市にゴミ管理の
 技術を移転。



セネガル【2005年撮影】
 総合村落林業開発計画 (PRODEFI)
 (技プロ)
 砂漠化防止対策、天然資源保護、
 並びに住民の収入向上。



— 教育 —

ベトナム【2005年撮影】
 タンラン村小学校建設計画
 (草の根無償)
 老朽化している小学校を新たに建
 設。初等教育環境が大きく改善。



ホンジュラス【2007年撮影】
 青年海外協力隊員 (日本語教師)
 活動現場 (JOCV・技協)
 日本語教育と共に文化交流を深め
 る活動も実施。



エチオピア【2007年撮影】
 住民参加型基礎教育改善プロジェクト
 (通称: ManaBuプロジェクト) (技プロ)
 住民参加型学校建設・運営。
 行政と住民の協働による小学校建設。



実践してみよう!

世界とわたしたち

— ねらい —

現在、世界では、1日1ドル以下の貧しい生活を余儀なくされている人がたくさんいます。ここでは、世界の現状と原因を知ると共に問題を解決するには、国際協力が必要とされていることを理解し、私たちひとりひとりができることを考えてみましょう。

— 所要時間 —

30分～35分

— 準備するもの —

キーワード (A4サイズ・手書きでも可)、付箋 (意見を書かせるため)

— 進め方 —

- 1 MDGs (エム ディー ジーズ) (ミレニアム開発目標 / Millennium Development Goals) についての説明。
- 2 以下のキーワードから関連する世界で起こっている問題をいくつか挙げる。
《キーワード》 貧困、教育、女性、乳幼児、妊産婦、HIV/エイズ、環境、貿易や金融
ひとつのキーワード、もしくは2～3のキーワードのみで行ってもよい。
また、複数のグループがある場合は、グループにつき、ひとつのキーワードを考えさせてもよい。
- 3 「2」で出た問題は、どうしたら良くなるのか問いかけ、意見を出し合い解決策を考える。
- 4 MDGsでは、8つの目標を決めたことを知らせる。
- 5 日本も取り組んでいるが、実際に現場を見てみよう。
⇒ここでDVD視聴

— 授業のヒント —

【ミレニアム開発目標 (MDGs) とは】 ①のヒント!

2000年9月ニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットに参加した147の国家元首を含む189の加盟国代表は、21世紀の国際社会の目標として国連ミレニアム宣言を採択しました。このミレニアム宣言は、平和と安全、開発と貧困、環境、人権とグッドガバナンス (良い統治)、アフリカの特別なニーズなどを課題として掲げ、21世紀の国連の役割に関する明確な方向性を提示しました。そして、この国連ミレニアム宣言と1990年代に開催された主要な国際会議やサミットで採択された国際開発目標を統合し、一つの共通の枠組みとしてまとめられたものがミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals: MDGs) です。MDGsは、2015年までに達成すべき8つの目標を掲げています。MDGsを含む国連ミレニアム宣言をレビューする首脳会合が2005年9月にニューヨークで開催されました。(外務省 HP より)

【世界の現状】 ②のヒント!

地雷 (第1巻-カンボジア)
水汲み～女性や子どもが犠牲～ (第2巻-カメルーン)
自然災害～火山噴火～ (第2巻-フィリピン)
ストリートチルドレン (第3巻-エジプト)
女性への支援 (第3巻-ホンジュラス)
環境問題 (第4巻-中国・モンゴル・セネガル)
学校へ行けない子どもたち (第4巻-ベトナム)
親への教育の理解 (第4巻-エチオピア)

【MDGs 8つのゴール】 ④のヒント!

- ・極度の貧困と飢餓の撲滅
- ・初等教育の完全普及の達成
- ・ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
- ・乳幼児死亡率の削減
- ・妊産婦の健康の改善
- ・HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止
- ・環境の持続可能性の確保
- ・開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

— 参考HP —

- 外務省 : <http://www.mofa.go.jp/Mofaj/gaiko/oda/doukou/mdgs.html>
 国連開発計画 (UNDP) : <http://www.undp.or.jp/mdgsafrica/>
 日本水フォーラム (地球上の水問題) : http://www.waterforum.jp/jpn/water_problems/

— 授業のヒント —

～年代別わたしのキャリアライフ～

— 年代別わたしのキャリアライフ —			
	クラス	出席番号	氏名
年代	どうなっているか?	実現に必要な事は?	必要資格取得は?
10代			
20代			
30代			
40代			
50代			
60代			
70代			
80代			

— ねらい —

若者たちが自分で考え、自分の力で生きていくキャリアデザインを考える参考として、世界には国際協力の現場でいきいきとした姿で仕事をしている人たちがいることを映像で知ってもらい、世界を舞台に活躍する社会人を目指してもらおう。

— 所要時間 —

30分～35分

— 準備するもの —

キャリア診断チャート (A4サイズ)
年代別わたしのキャリアライフ (A4サイズ)

— 進め方 —

- 1 「キャリア診断チャート」でタイプを探る。
- 2 その場でタイプが多いもののDVDをいくつか視聴
- 3 年代別 (10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以降) に自分はどのように生きていくか? イメージして書いてもらう。
- 4 何人かに発表してもらう。

— 参考HP —

- 13歳のハローワーク : <http://www.13hw.com/>
 外務省 (採用情報) : <http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/saiyo/index.html>
 JICA (しごと@JICA) : <http://partner.jica.go.jp/shigoto/>

わたしのキャリアデザイン

世界のみんなの笑顔のために

— ねらい —

世界で起こっていることを旅人ではない自分の考え方に立ち、リアリティを持って考えてみる。

— 所要時間 —

30分～35分

— 準備するもの —

トランプマップ (国際協力プラザHP参照)

— 進め方 —

- 1 DVDの中から、貧困や女性支援、教育、などのMDGsのテーマに沿った部分を視聴する。DVDはテーマに分かれているので選択しやすい。
- 2 トランプマップを人数分用意し、配布する。配られたカードの国の詳細 (面積・人口・首都・出生時平均寿命など) や位置を世界地図で確認する。HDIの説明と順位を説明。そのカードの国の大使となってもらうことを告げる。

— 参考HP —

- 外務省 (採用情報) : <http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/saiyo/index.html>
 UNDP-国連開発計画 : <http://www.undp.or.jp/>
 国際協力プラザ : <http://www.apic.or.jp/plaza/>

- 3 全員が自分の国のHDI指数を周りの人と比べながら一列に並んでみる。司会者は、一人当たりのGDPを列の先頭や真ん中や最後尾の大使に聞く。次に、平均寿命が40歳代の人に手を上げてもらい何処の国か聞く。次に平均寿命が80歳代の人に手を上げてもらい何処の国か聞く。(世界の中で自分の国がどのくらいの位置にいるか参加者が理解するように進める。)
- 4 4～5人のグループになる。(列を前から4等分して、それぞれから一人ずつ入るようにグループ分け) グループになったら、大使としてカードの国を紹介する。国の開発目標と他の国にしてみたい援助を話す。援助要求に対して、それぞれの大使としてディベート。集まった国がみな、幸せになる方法をグループごとに、まとめて発表する。
- 5 大使紹介とともに自分の国を紹介する。
- 6 集まった国がみな、幸せになる方法をグループごとに考える。

- 7 もう一度、「3」のグループになって、他の意見を出し合う。
- 8 再度、みんなが幸せになる方法をグループごとに話し合う。
- 9 グループごとに発表する。

— 授業のヒント —

【ミレニアム開発目標 (MDGs) とは】 ①のヒント!

HDIとは・・・
人間開発指数 (Human Development Index) は、各国の人間開発の度合いを測る新たなものさしとして発表された、包括的な経済社会指数です。HDIは各国の達成度を、長寿、知識、人間らしい生活水準の3つの分野について測ったものです。



日本の政府開発援助 (ODA)

政府開発援助 (ODA: Official Development Assistance) とは、OECD (経済協力開発機構) のDAC (開発援助委員会) が作成する援助受取国・地域へのリストに掲載された開発途上国・地域に対し、主に経済開発や福祉の向上に寄与することを目的として公的機関によって供与される贈与および条件の緩やかな貸付のことです。

ODAには、開発途上国を直接支援する二国間援助と、国際機関を通じて支援する多国間援助があります。二国間援助は、「贈与」と「政府貸付」に分けることができます。贈与は開発途上国に対して無償で提供される協力のことで、「無償資金協力」と「技術協力」があります。一方、「政府貸付」は、将来、開発途上国が返済することを前提としており、「有償資金協力 (円借款)」があります。多国間援助には、国連児童基金 (UNICEF) や国連開発計画 (UNDP) への拠出や世界銀行などへの拠出・出資などがあります。



外務省HP「2009年版 政府開発援助 (ODA白書)」より